

三ヶ日みかんが私の所に届くまで

茨城県東海村立中丸小学校 五年 大場 春芽

毎年愛知のおじさんの家から、大好きな、「三ヶ日みかん」が届きます。調べてみると静岡県浜松市北区三ヶ日地区で作られているようです。みかんの産地というと愛知県のイメージが強かったのですが、関東から近い静岡にも有名な産地があることが分かりました。何気なく食べているみかんですが、静岡県からどんな旅をして私の所に届くかを考えてみたら、多くの人の力を使っていることに気づいたので書き出してみます。

まず、みかんを作る生産者がいます。みかんの木を植え、肥料をやり、除草をして、水をあげて美味しいみかんが出来ます。出来たみかんを摘む人、箱に入れる人、箱を市場まで運ぶ人がいます。市場ではせりをする人、買う人がいて、日本全国に向かって、また、トラックや船、飛行機を運転する人によって、運ばれます。各地域に運ばれたみかんは、スーパーや果物屋さんに運ばれて、たなにならべて値段をつける人、レジでお金を受け取る人、家まで運んでくるお父さん、食卓にならべるお母さんがいてやっと私の口にみかんが届くのです。

何だか、とつても長い旅をしてきたみかんを簡単に食べてしまうのがもったいない気になりました。くだものだけでなくて、食べ物もみな、色んな人が働いて消費者に届いているので、ひとつひとつ手元にあることをありがたいことと思ひ、大切に美味しく食べていこうと思います。